

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Analysis of dose fractionation in the palliation of metastases from malignant melanoma</b>	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ19-12	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（IV）	
	Pubmed ID	3334956	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	61	
	号	2	
	ページ	243-6	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1988 年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Konefal JB	ワシントン大学
	その他著者 1	Emami B	同上
	その他著者 2	Pilepich MV	同上
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

一次研究の8項目	目的	臓器転移のある悪性黒色腫の症状緩和のための放射線治療に1回線量増加の意義があるかを検討する。		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究		
	セッティング	ワシントン大学		
	対象者	骨転移(28例)、脳(23)、肺(5)、軟部組織(2)、上咽頭(2)、眼窩(2)、脊髄(2)、上大静脈症候群(1)の計65例		
	対象者情報(国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)		
	対象者情報(性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)		
	対象者情報(年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)		
	介入(要因曝露)	総線量:<20 Gy(8例)、20-30 Gy(40)、30-40 Gy(14)、40-50 Gy(3) 1回線量:2 Gy(7例)、2-3 Gy(29)、3-4 Gy(6)、4-5 Gy(7)、5-6 Gy(15)、>6 Gy(1)		
	エンドポイント(アウトカム)	エンドポイント	区分	
		1	症状緩和効果	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		2		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	主な結果	症状緩和率:62% 総線量と緩和率:55-100%(線量と相関なし) 1回線量と緩和率:43-100%(1回線量と相関なし) 骨転移および脳転移に関しては別々に解析を行ったが相関なし		
	結論	1回大線量を用いることの有用性は示されなかった。		
	備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間直人		

	レビューワーコメント	症状緩和の明確な計測法の記載なし。毒性に関する記載なし。 レベル IV
--	------------	--